

《小学校中学年の部》

「車いす体験を通して」

有田市立箕島小学校 4年

田中 真由 さん

総合の時間に、車いす体験をしました。体育館に行くと、車いすがたたんで置いてありました。私は、この日初めて車いすにさわりました。二人一組になって、まず私が先に車いすに乗りました。五センチの段差を乗り越えます。ティップingleレバーをふんで車いすが上がりました。たった五センチと思っていたのに、すごく高く上がって体がななめになって、とてもこわかったです。次は、私がおす番になりました。レバーが重たくて、一人で上げることが出来なかつたので、先生に手伝ってもらってようやく上げることが出来ました。すごくしんどかったです。

次に、自分でこぐ体験をしました。実さいにやってみると、なかなか真つすぐ進めませんでした。ジグザグコース、だんだんせまくなってきました。道のはばが百センチよりせまくなると、コーンに当たってばかりでした。上り下り、みぞこえなど、色々なコースを体験しました。せまい道は通りにくく、ほんの小さなすき間でも、車輪がはまってしまい、大変だと感じました。

最後に、校内を車いすで通りました。じやり道はぜんぜん進みませんでした。手洗い場で、車いすに乗ったまま手を洗うと、水道のじゃ口がすごく遠くに感じました。車いすに乗っていると、いつも生活をしている学校がとても不便に感じました。ふううに生活することの大変さと、介よする人の苦勞を知ることが出来ました。車いすの人と話をする時は、視線を低くすることが大事だということも教えてもらいました。今日の体験は知らないことばかりでした。私はこの体験を通して、車いすの人や体の不自由な人が、もつとくらしやすいように、段差がなくなり、車いすに乗ったままで便利に使えるものが増えたら良いと思いました。そして、だれもが笑顔で暮らせる社会にしていきたいと思いました。